

1 認定こども園斜里大谷幼稚園の教育目標

教育保育理念	本願(ともに)に生き ともに育ちあう保育の実践 ～ばらばらで いっしょ～
教育保育目標 お誓いのことば	・大谷の子は 命を大切にします ・大谷の子は 素直にありがとうをいいます ・大谷の子は みんな仲良く頑張ります

2 本年度の重点目標

認定こども園の教育・保育要領の改訂にともない、以下の点を今年度の重点課題としました。

① 「全体の課題から、一人一人の特性や発達の課題にそくした指導を行う」ということから、一斉保育から一人一人に合わせた保育の実践に取り組む
② 「園児の主体的な活動が確保されるよう、園児一人一人の行動の理解と予測に基づき、計画的に環境を構成しなければならない」ということから、環境設定保育の充実に取り組む。

3 評価項目に対する自己評価

① 保育の計画性 ・理念と方針の理解 ・教育保育指導要領の理解 ・教育課程の編成 ・環境の構成 ・保育と計画の評価と反省	<p>■プロジェクトについて</p> <p>必要な用品がそろっていたので準備はスムーズに行えた。昨年度の保育の様子、子供たちの事等を思い出しながら、昨年より挑戦することが出来た。(2年目だからこその子供の成長が現れた)しかし、理解不足から計画どおり進まないこともあり、更なる理解の必要さも感じられた。</p>
② 保育の在り方、乳幼児への対応 ・健康と安全の配慮 ・幼児の見取りと理解 ・指導とかかわり ・保育者同士の協力と連携	<p>・頭を机の脚にぶつけ、出血を伴ったたんこぶになるケガがあった。適切な対応をとることが出来たが、再度、必要に応じ救急車を呼んだり、こまめに様子をみたり、保護者に連絡する等、職員間で確認していった。</p> <p>・一人一人の体調の変化に留意し、必要に応じて検温したり、お迎えを要請した。</p> <p>・配慮の必要な子についての対応を職員間で十分に共有することが出来なかった。全職員で話し合う機会を設けることも難しいため、必要に応じて書面を作成するなど、さらに実施していきたい。</p> <p>・1号認定2号認定の間での情報共有は出来たが、3号認定職員との情報共有はできなかった。各クラスの毎日のブログを見る程度なので、新型コロナが落ち着いたら改善の必要がある。</p>

<p>③ 保育者としての資質や能力・適正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家としての能力・良識・義務 ・組織の一員としての在り方 ・保育の楽しみ・喜び ・周りを感じ取れるアンテナ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ渦であり制限の多い中、様々なアイデアを出し合いポジティブに考えていくことが出来た。 ・保育者として一人一人によりそい、楽しんで保育することが出来た。 ・日々の業務に追われ、他のクラスの職員がどこまでできているか、業務の理解をしているかの確認が十分に確認できなかった。
<p>④ 保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信と受信 ・協力と支援 ・守秘義務の遵守 ・対応上のマナー・良識 ・クレームへの対応の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、新型コロナ渦で、送迎の際の保護者との話を極力控えていた分、ブログや動画の配信等で伝えていくことが出来た。 ・父母の会三役を廃止し、代表役員をクラスから2名選出するようにした。園だけでは判断の難しいことに関しては、その都度相談し、クラスの保護者の声を聞かせていただきながら判断することが出来た。 ・協力と支援に関しては、ご家庭との面談の実施から、通園センターにつなげることが出来た。必要に応じて個々に就学に向けての相談をしていった。 ・緊急事態宣言による休園の連絡等は、メールで細かく配信し、ホームページ等に掲載した。
<p>⑤ 地域の自然や社会とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然と人々とのかかわり ・小学校との連携 ・地域への開放と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携では、秋に小学校の先生と気になる子の共有情報交換をすることが出来た。子供同士の交流はできなかったが、必要に応じて職員間での連携はあった。また、教育委員会との情報共有の密にしていきたい。(就学前調査、就学時検診、1日入学の日程等) ・地域行事への参加や福祉施設訪問、地域への開放等に関しては、ご高齢者や園児の感染予防を考慮し実施しなかった。
<p>⑥ 研修と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修研究への意欲と態度 ・専門性の向上 ・遊具教材に関する研修研究 ・園内環境に関する研修研究 ・今日的課題に関する研修研究 ・自らを高めるための学習 	<p>ピラミッドメソッド資格講習や保育心理士フォローアップ研修や専門分野別キャリアアップ研修、主任研修、コロナ研修等を受けることが出来た。</p> <p>おおむね、職員の多くが専門分野4つ以上の研修をうけ、すべての分野で受講できるようにしていきたい。</p> <p>研修を受けたが、その内容について情報共有する場が設けられなかった。</p>

4 次年度以降に取り組む課題

<p>保育の姿は出来上がってきたので、引継ぎや定着化をすすめていきたい。</p>
<p>ピラミッドメソッドの再確認をし、園内研修を再開していきたい。 生活習慣や環境構成の再確認や改善</p>